

令和2年度

**盛岡市地球温暖化対策
実行計画（区域施策編）**

年次報告書

第1節

盛岡市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）について

1 計画の位置づけ

この計画は、2008（平成20）年6月に改正された地球温暖化対策の推進に関する法律（以下「温対法」という。）において都道府県、政令市、中核市及び特例市に策定が義務付けられたものであり、その区域を対象として、地域の自然的・社会的特性に応じて温室効果ガス排出の抑制等を行うための地方公共団体実行計画（区域施策編）です。2011年（平成23年）年3月に策定しましたが、2015（平成27年）のパリ協定採択や2016（平成28年）の国の地球温暖化対策計画策定など、盛岡市の地球温暖化対策を取り巻く諸情勢の大きな変化を受け、2018（平成30）年3月に改定しました。

また、この計画は、盛岡市環境基本計画に掲げるめざす環境像のひとつである「資源を大切にし地球環境の保全に貢献するまち」の実現に向け、その施策や取組を具体化する個別計画に位置づけられます。

2 削減対象とする温室効果ガス

二酸化炭素・メタン・一酸化二窒素・HFC・PFC・SF₆

京都議定書及び温対法の対象と同様に、市域内で人為的に排出されている二酸化炭素、メタンなどの6物質を対象とします。

3 計画の期間

2018（平成30）年度から2030（令和12）年度までの13年間

計画期間の設定には短期・中期・長期といったものが考えられますが、具体的な対策の積み上げが可能な中期13年間、2030（令和12）年度までを計画期間とします。

また、削減目標の基準年度は、国の「地球温暖化対策計画」との整合を図り、2013（平成25）年度としています。

4 温室効果ガス削減目標

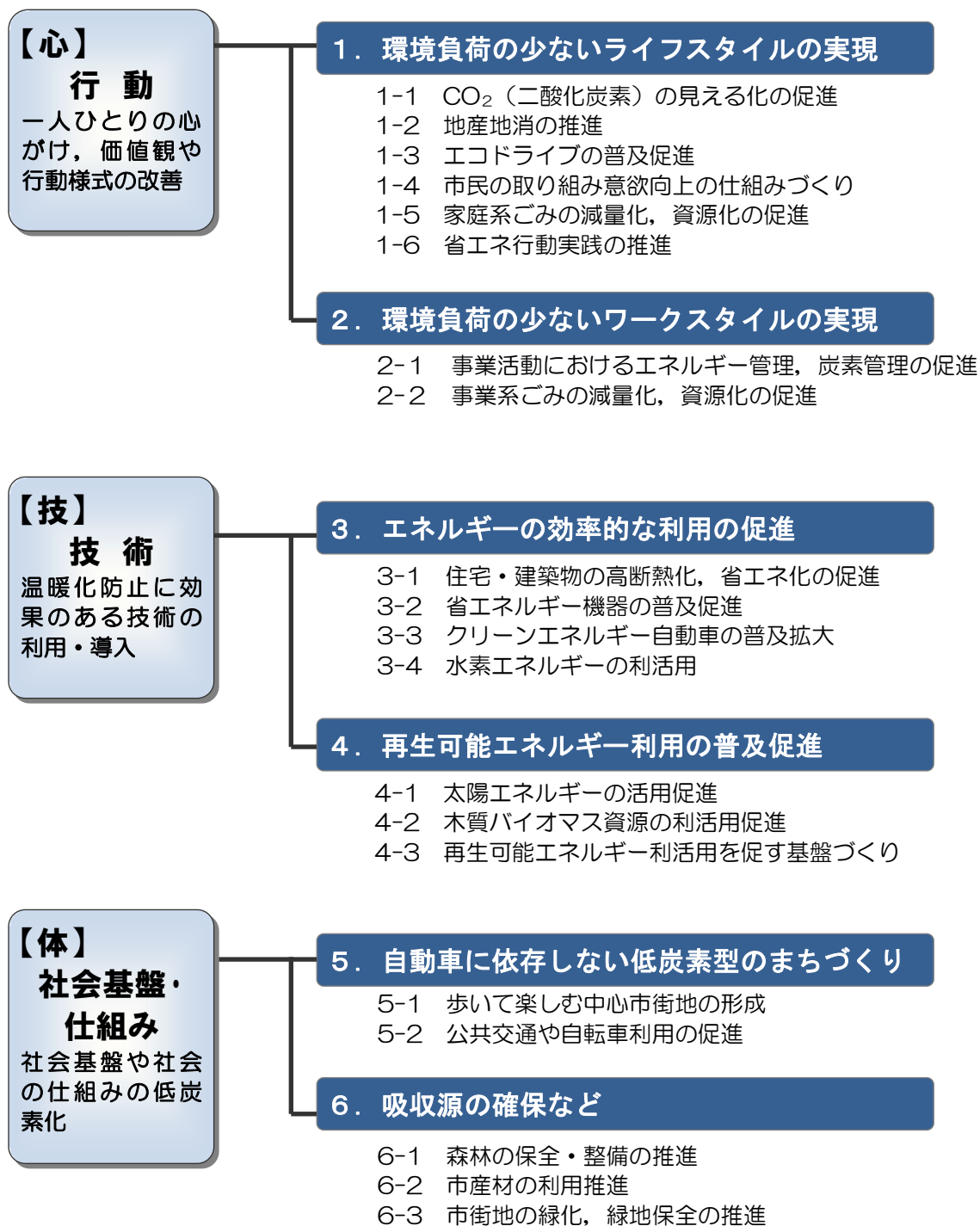
2013（平成25）年度比で△31% （2,466千t-CO₂ → 1,702千t-CO₂）

国では2030（令和12）年度における温室効果ガス排出量を2013（平成25）年度比で26%削減することを目標としています。

本市においては、計画改定時の基準年度である2013（平成25）年度の温室効果ガス排出量のデータから、市民・事業者・市の取組を加味して2030（令和12）年度の温室効果ガスの排出量を推計し、2030（令和12）年度に2013（平成25）年度比で、国の削減目標である26%を超える31%減の水準にすることを目標とします。一方、電力排出係数の改善による削減効果に、本市の削減目標の達成状況が大きく左右されると想定されることから、電力排出係数による削減効果を含めない場合の目標（2030年度に2013年度比16%減）も合わせて削減目標とします。

5 施策の体系

この計画における施策の体系を「行動（心）」、「技術（技）」、「社会基盤・仕組み（体）」の3つの柱で構成し、地球温暖化対策に向けて総合的なアプローチを展開します。



第2節

2018（平成30）年度の温室効果ガス排出量推計値（暫定値）

1 温室効果ガスの排出状況

- 2018（平成30）年度の市内の温室効果ガス排出量は、2013（平成25）年度比で13.9%減少しています。
- 前年度（2017年度）に比べ温室効果ガス排出量は61千t-CO₂減少しました。
- 2018（平成30）年度の温室効果ガス排出量の約91%を二酸化炭素が占めています。

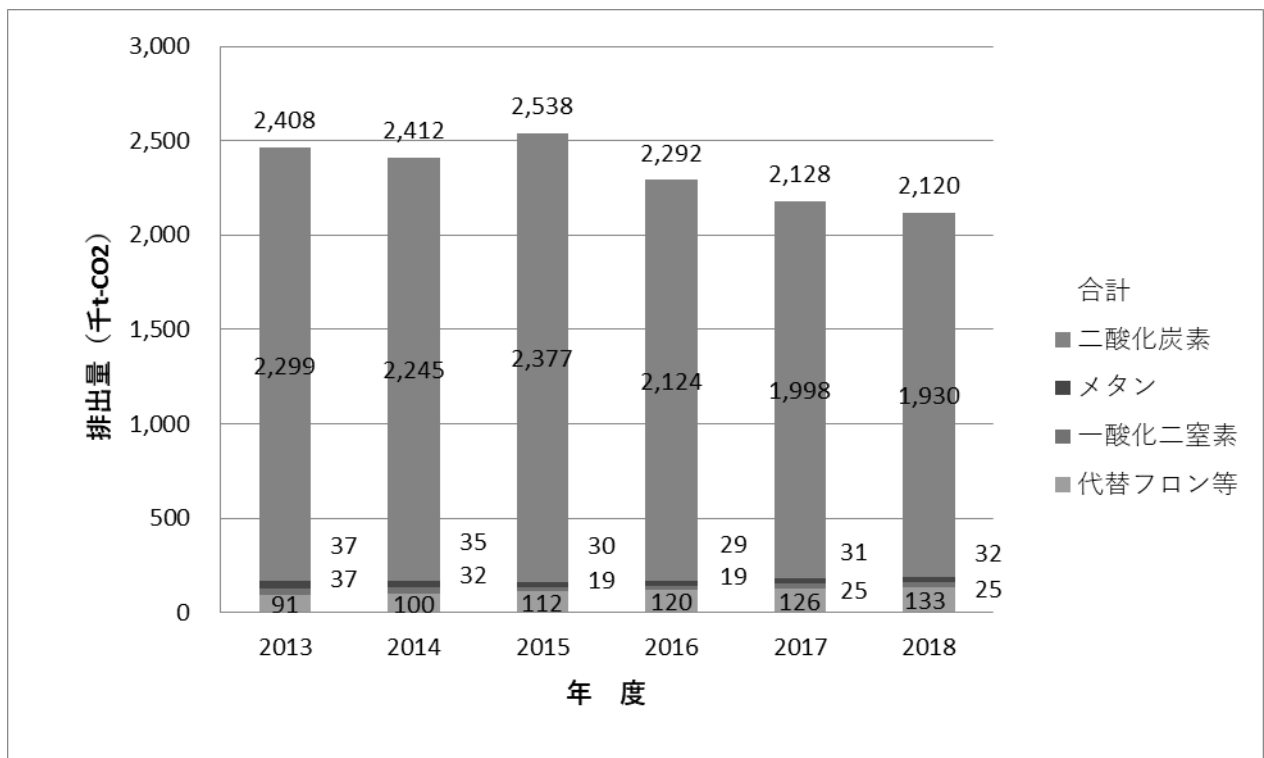
[表 温室効果ガス排出量の基準年比]

ガス種	温室効果ガス排出量(単位:千t-CO ₂)				
	2013年度 (基準年度)	2017年度	2018年度		
			前年度比	基準年度比	
二酸化炭素(CO ₂)	2,299	1,998	1,930	△3.4%	△16.0%
メタン(CH ₄)	37	31	32	0.9%	△14.4%
一酸化二窒素(N ₂ O)	37	25	25	0.3%	△30.8%
代替フロン等3ガス分野 (HFC, PFC, SF ₆)	91	126	133	5.3%	46.1%
合計	2,464	2,181	2,120	△2.8%	△13.9%

※基準年比 = (当該年値 - 基準年値) ÷ 基準年値

※排出量及び構成比の各数値について、端数処理の関係から、小計及び合計と一致しない場合があります。

[図 温室効果ガス排出量の経年変化]



2 部門別二酸化炭素の排出状況

- 2018（平成30）年度の市内の二酸化炭素排出量は基準年度（2013年度）比**16.0%減少**（前年度（2015年度）比では3.4%減少）しています。
- 前年度に比べ、家庭部門の排出量が76千t-CO₂減少し、全体でも369千t-CO₂の減少となりました。
- 基準年度に比べ、農林水産業部門の排出量が大幅に増加しています。

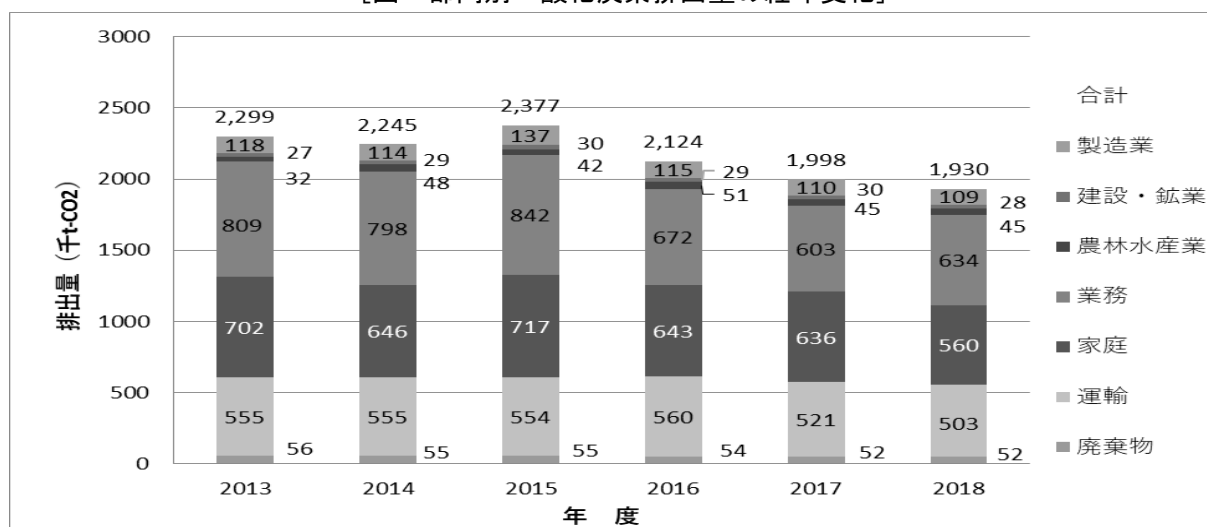
[表 部門別二酸化炭素排出量の基準年比]

ガス種	部門／分野		温室効果ガス排出量(単位:千t-CO ₂)					
			2013年度 (基準年度)	2017年度	2018年度			
					前年度比	基準年度比		
エネルギー 起源 CO ₂	産業部門	製造業	118	110	109	△1.6%	△7.6%	
		建設業・鉱業	27	30	28	△6.1%	1.7%	
		農林水産業	32	45	45	△1.5%	38.6%	
	業務その他部門		809	603	635	5.2%	△21.6%	
	家庭部門		702	636	560	△12.0%	△20.2%	
	運輸部門	自動車	旅客	323	305	295	△3.1%	△8.7%
			貨物	205	194	185	△4.8%	△10.1%
		鉄道		27	23	23	0.7%	△13.4%
		小計		555	521	503	△3.6%	△9.4%
	小計		2,243	1,946	1,878	△3.5%	△16.3%	
エネルギー 起源 CO ₂ 以外	廃棄物分野	焼却	一般 廃棄物	56	52	52	0.1%	△7.0%
	合計		2,299	1,998	1,930	△3.4%	△16.0%	

※排出量及び構成比の各数値について、端数処理の関係から、小計及び合計と一致しない場合があります。

※温室効果ガス排出量の将来推計値は、人口変動による影響を考慮した値となります。

[図 部門別二酸化炭素排出量の経年変化]



第3節

2020（令和2）年度の盛岡市の取組状況

1 各施策の取組状況

2020（令和2）年度に盛岡市が実施した各施策の取組実績は以下のとおりです。

詳細については、令和2年度環境に関する年次報告書の該当ページをご覧ください。

基本方針1. 環境負荷の少ないライフスタイルの実現

市民一人ひとりが環境負荷の少ない行動を自ら考え、自ら行動できるように、CO₂（二酸化炭素）の見える化（可視化）等を通じて、一人ひとりの価値観や行動様式を改善し、環境負荷の少ないライフスタイルの定着を図ります。

取組項目	令和2年度実績
CO ₂ の見える化の促進	<ul style="list-style-type: none"> ○ 盛岡市子どもエコチャレンジの実施：参加31校・1,587人 <P76> ○ 環境家計簿のウェブサイト等での公開
地産地消の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ 産直施設への支援 <P85> ○ 盛岡市農業まつりの開催：10/24-25・参加14,000人 <P85>
エコドライブの普及促進	<ul style="list-style-type: none"> ○ エコドライブシミュレーターによる体験の場の提供 ○ 環境学習教材等によるエコドライブの周知
市民の取り組み意欲向上の仕組みづくり	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「もりおかの環境」等の発行 <P85> ○ 環境教育副読本の発行：「ごみとわたしたち」作成3,000部 <P76> ○ 環境学習教材の活用：「エコライフのすすめ」配布698部 ○ 環境教育映像の活用：「盛岡市の再生可能エネルギーへの取組み」ほか <P64> ○ 環境部ウェブサイト「ecoもりおか」の運営 <P76> ○ 「こどもエコクラブ」への支援：登録2団体・139人 <P81> ○ 小・中・市立高校での取組：小42校・中23校 <P76> ○ 区界高原少年自然の家での取組：参加853人 <P83> ○ 公民館による環境学習機会の提供：参加49人 <P83> ○ 学びの循環推進事業・学習相談事業：中央公民館・参加20人 <P84>
家庭系ごみの減量化、資源化の促進	<ul style="list-style-type: none"> ○ ごみの適正排出の指導：分け方・出し方、収集カレンダー配付 <P72> ○ ごみ集積場所の適正管理指導：きれいなまち推進員435人 <P74> ○ ごみ減量・リサイクル情報について：市の広報誌による周知 <P76>

取組項目	令和2年度実績
家庭系ごみの減量化，資源化の促進	<ul style="list-style-type: none"> ○ ごみ集積場所等整備事業補助：106件 <P72> ○ 資源集団回収への支援：器具貸出104件・175台 報奨金406団体・約2,233万円，表彰7団体 <P71> ○ 容器包装リサイクル法の推進：資源化量7,594 t <P72> ○ 地域循環型生ごみ処理推進事業：生ごみ処理機設置3箇所 <P70> ○ 剪定枝等粉碎機の貸出し：貸出4件 <P71>
省エネ行動実践の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ クールビズ・ウォームビズの取組（夏期28度，冬期19度） ：クールビズ6/1～9/30，ウォームビズ11/1～3/31 <P63> ○ ライトダウンの取組：7/7 <P63> ○ 「COOL CHOICE～未来のために，いま選ぼう。～」の周知 <P63>

基本方針 2. 環境負荷の少ないワークスタイルの実現

本市において高い割合を占める第三次産業を中心に，各企業の環境報告書の作成や各種法規制に基づくエネルギー管理を促進し，事業活動に伴う温室効果ガスの削減を図ります。

取組項目	令和2年度実績
事業活動におけるエネルギー管理，炭素管理の促進	<ul style="list-style-type: none"> ○ 盛岡市エコオフィスプラン：H25比温室効果ガス排出量9.0%減 <P105>
事業系ごみの減量化，資源化の促進	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事業系一般廃棄物の減量と適正処理の推進 <P70> ○ 産業廃棄物の適正処理 <P73> ○ 特殊・危険なごみの適正処理：指導40件 <P73> ○ 中央卸売市場のごみの再利用及び減量化：野菜くず分別排出71.0% <P73> ○ 公共事業における耐久性の向上：大新小学校，仁王小学校，城西中学校，中野小学校，本宮小学校，太田東小学校，松園小学校，月が丘小学校，山岸小学校，北陵中学校，仙北中学校，飯岡小学校，玉山小学校，巻堀小学校，生出小学校，玉山中学校 <P70>

基本方針 3. エネルギーの効率的な利用の促進

寒冷地で暖房エネルギー需要の高い本市の特性を踏まえ，住宅や建築物の高断熱化を進めるとともに，省エネルギー機器や高効率機器の普及を進めます。

また，日常生活での移動手段として重要な自動車については，ハイブリッド自動車や電気自動車等の環境負荷の少ないクリーンエネルギー自動車への転換・普及拡大を図ります。

取組項目	令和2年度実績
住宅・建築物の高断熱化，省エネ化の促進	<ul style="list-style-type: none"> ○ 断熱性の高い建築物の公共事業への導入 <P63>

取組項目	令和2年度実績
省エネルギー機器の普及促進	<ul style="list-style-type: none"> ○ 電力消費を抑える照明器具の設置 ：大新小学校，仁王小学校，城西中学校，中野小学校，本宮小学校，太田東小学校，松園小学校，月が丘小学校，山岸小学校，北陵中学校，仙北中学校，飯岡小学校，玉山小学校，巻堀小学校，生出小学校，玉山中学校 <P63>
クリーンエネルギー自動車の普及拡大	<ul style="list-style-type: none"> ○ 低公害車に関する情報提供 <P64> ○ 低公害車の導入：保有120台・26% <P32> ○ 電気自動車の率先導入：若園町分庁舎1台，ユートランド姫神1台 <P32> ○ 電気自動車急速充電器の設置：ユートランド姫神1基 <P32> ○ 中央卸売市場のフォークリフト電動化：保有139台・90.8% <P64>
水素エネルギーの利活用	<ul style="list-style-type: none"> ○ 県主催の水素ステーション等研究会への参加

基本方針4. 再生可能エネルギー利用の普及促進

約30万人の人口を抱え、戸建て住宅が多く、教育・文化・体育施設等が多く存在する本市の住宅・建物特性を踏まえ、中長期的に政府の政策的支援が期待できる太陽エネルギーの活用を促進します。また、市域に多くの賦存量をもつ地域密着型の未利用エネルギーであるバイオマスエネルギー等の導入を検討します。

取組項目	令和2年度実績
太陽エネルギーの活用促進	<ul style="list-style-type: none"> ○ 太陽光発電設備の設置 ：中津川取水場，山王小学校ほか（累計30施設611kW） <P65> ○ 住宅用太陽光発電システム設置費補助制度：補助件数91件 <P66> ○ メガソーラー事業の実施 <P66> ：ソーラーガーデン姫神（1.8MW），中央卸売市場（1.6MW）  <p style="text-align: center;">ソーラーガーデン姫神</p>
木質バイオマス資源の利活用促進	<ul style="list-style-type: none"> ○ ペレットストーブの導入 ：米内浄水場水道記念館ほか（累計20施設25台） <P66> ○ 薪ボイラー及びペレットボイラーの導入：区界高原少年自然の家 <P65> ○ ごみ発電の実施：発電量約994万kWh/年 <P66> ○ ごみ焼却余熱利用施設の運営：ゆびあす利用者数約16万人/年 <P67> ○ チップボイラーの導入：ユートランド姫神 <P65>
再生可能エネルギー利活用を促す基盤づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「もりおかエコライフ2020」の動画配信 ：11/27-1/31・動画閲覧数約8,500回 <P64> ○ 地球温暖化に対する意識啓発：パネル展開催2回 <P64> ○ 農山漁村再生可能エネルギー法による風力発電所設置 <P67> ○ つなぎ温泉地域の地熱活用事業の実施 <P67>

基本方針 5. 自動車に依存しない低炭素型のまちづくり

「盛岡市都市計画マスタープラン」や「もりおか交通戦略」等で定めた中長期的な都市・交通計画の施策を基本とし、歩行者や自転車利用者が回遊しやすく、歩いて楽しめる中心市街地の形成をめざすとともに、公共交通の充実・利便性向上や各種自転車施策を通じた通勤時のマイカー利用の抑制、公共交通や自転車への転換を図ります。

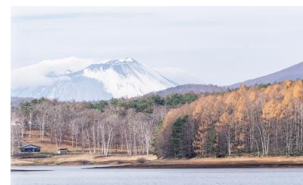
取組項目	令和2年度実績
歩いて楽しむ中心市街地の形成	<ul style="list-style-type: none"> ○ 都心循環バスの運行：利用客約1,500人/日 <P30> ○ 自転車の安全と利用促進 <P31> ○ 電線類の地中化 <P57> ○ 融雪施設の整備 <P31> ○ 歩行者空間の確保：禁止区域放置自転車撤去236台 <P31> ○ トランジットモールの検討 <P31>
公共交通や自転車利用の促進	<ul style="list-style-type: none"> ○ 公共交通網の再編 <P30> ○ 時差出勤の実施 <P33> ○ ノーマイカーデーの実施：毎週水曜日

基本方針 6. 吸収源の確保など

森林面積が市域の約7割を占める本市の自然的特性を温暖化対策に活かすため、森林組合や市民・事業者等との連携のもと、地域の森林資源を保全・整備するとともに、地場産材の利用拡大を図り、森林の整備需要を喚起し、吸収源の確保を図ります。

また、市街地については、今ある緑の適正な維持管理を行うとともに、新たな緑を育てることで温暖化防止を進める意識の醸成を図ります。

取組項目	令和2年度実績
森林の保全・整備の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ 岩山南公園（動物公園）の森林環境の管理 <P55> ○ 森林適正管理推進事業：民有林除間伐等面積約100ha <P43> ○ 市有林造成事業：市有林作業面積約84ha <P42> ○ 森林保全巡視業務：半日巡視140回 <P43> ○ 森林公園内間伐作業等の実施 <P55> ○ 平成市民の森整備事業 <P42> ○ 山火事防止広報活動 ：巡視18日間 <P43> ○ 農業まつりで木材の魅力をPR <P85> ○ 松くい虫被害防止対策事業の実施 ：駆除量約280m³ <P43>



取組項目	令和2年度実績
市産材の利用推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市営建設工事などにおける木材利用 ：築川児童・老人福祉センター，ユートランド姫神チップボイラー棟ほか
市街地の緑化， 緑地保全の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「緑のまちづくり補助金交付制度」による支援 ：生け垣の木20本，通りの木1本，生け垣の総延長27,056m <P54> ○ 町内会や子ども会等への花苗等の支援：配付241団体・49,688株 <P53> ○ 花と緑に関する相談コーナーの開設：利用102人・相談306件 <P53> ○ 盛岡市グリーンバンクへの支援 <P54> ○ グリーンプロットの設置 <P50> ○ 開発行為に当たっての自然環境への配慮の促進：指導21件 <P48> ○ 緑地協定の締結の促進：協定4地区 <P53> ○ 公共施設の緑化：道路緑化 <P54> ○ 公園・緑地の整備：0.18ha <P47> ○ 盛岡市公園愛護会の活動支援：全438箇所 <P84>

2 進行管理指標

各進行管理指標に対する目標達成度は以下のとおりです。今後も温室効果ガス排出量削減のため、各種施策を推進してまいります。

(目標達成度 ◎：当初値からの達成率100%以上，○：同50%以上，△：同50%未満，×：同0%以下)

基本方針	指標	単位	基準年 2013 (平成25) 年度	現況 2020 (令和2) 年度	目標 2030 (令和12) 年度	目指す 方向	目標 達成度
環境負荷 の少ない ライフスタイルの実現	家庭系(可燃・不燃)ごみの排出量	t	55,824	51,706	48,866 (令和6)	↘	○
	家庭向け省エネ診断を受けた世帯数【累計】	世帯	65	131	580	↗	△
	環境学習教材を利用した人数	人	4,148	18,097	30,000	↗	○
	環境に関する啓発事業への参加者数	人	39,580	10,962	40,000	↗	×
	子ども環境モニターの参加者数【累計】	人	4,839	16,505	33,000	↗	○
	まちづくり評価アンケート調査で「CO ₂ 削減など地球環境にやさしい生活を心がけている」と答えた市民の割合	%	80.7	76.6	100	↗	×
環境負荷 の少ない ワークスタイルの実現	事業系(可燃・不燃)ごみの排出量	t	43,636	35,726	38,010 (令和6)	↘	◎
	省エネ診断を受けた企業の数【累計】	社	98	289	560	↗	△
エネルギー の効率的な 利用の促進	長期優良住宅の認定件数【累計】	戸	1,010	2,500	4,300	↗	△
	市の公共施設へのLEDなど省エネ設備導入等による二酸化炭素排出の削減量	t-CO ₂	1,396	2,132	7,500	↗	△
	市内のクリーンエネルギー自動車の台数【累計】	台	13,479	33,136	57,000	↗	△
再生可能 エネルギー 利用の 普及促進	家庭での太陽光発電システムの導入件数【累計】	戸	3,384	6,404	14,000	↗	△
	市の公共施設への再生可能エネルギー導入による二酸化炭素排出の削減量	t-CO ₂	23	1,487	5,450	↗	△
自動車に 依存しない 低炭素型の まちづくり	通勤時における自動車の交通利用分担率	%	59.3	62.6	53.0 (令和4)	↘	×
	「自転車で快適に移動できる」と思う市民の割合	%	34.2	37.0	42.0 (令和5)	↗	△
吸収源の 確保など	施業が行われた民有林の面積	ha	908	366	997	↗	×
	地域材利用量	m ³	68,498	46,886	107,000	↗	×

令和2年度

**「盛岡市エコオフィスプラン」
年次報告書**